

# 現代を徘徊する 『平均点』という化け物

講演者：なだいなださん

(作家・精神科医)

おもな著書：『こころ医者講座』筑摩書房 2009.10 (ちくま文庫)  
『ふり返る勇氣』筑摩書房 2006.9  
『こころの底に見えたもの』筑摩書房 2005.9 (ちくまプリマー新書)  
『神、この人間的なもの』岩波書店2002.9 (岩波新書)  
ほか33冊準備中



●日時／ 2011年2月21日(月)  
18:00～20:00

●場所／ 日本教育会館 8階 第2会議室

「ミミズ三匹と、象二頭と、牛一〇頭と、ねこ4匹」「ぶた五頭とアリ一万匹と、ヘビ一〇匹」の平均を出して比較することに意味ありや。

ならば、「算数と国語と、英語と社会」の平均で順位を決めることに意味ありや否や。

モノサシは一つでいいか。

画素はある程度まで多いほどいい。画像がシャープになる。

ものさしもある程度多い方がいい。多角的に見られる。深みが分かる。

それなのに、なぜ、センター試験などによるたった一つのモノサシで選抜が行われるようになったか。

経済もドルに依存しない方がいい。

世界も一つの超大国だけでない方がいい。

世界も英語一ヶ国語だけが支配しない方がいい。

歪んだ常識は正す努力が必要だ。正すというのは反対方向にぶれるということ。決して正しい方向があるわけではない。反対方向にぶれていれば、中庸に向かう。

いまこそ哲学が必要なときだ。

人間は、カントのいうような理性ではなく、常識哲学者のいう常識で判断している。

入場無料

申込は不要です。  
なお、前回より開催時間を18時からとしています。  
お間違いにならぬようご注意ください。

主催

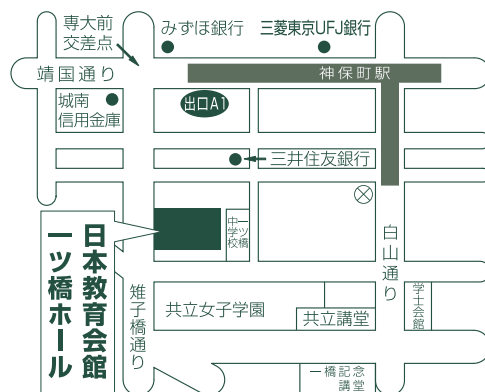
(財)日本教育会館

千代田区一ツ橋 2-6-2

TEL03-3230-2852(代表)

後援

国民教育文化総合研究所



■交通機関のご案内  
都営新宿線・東京メトロ半蔵門線／神保町駅(出口A1)  
都営三田線／神保町駅(出口A1,A6,A8)  
東京メトロ東西線／九段下駅(6)・竹橋駅(北の丸公園口)  
JR水道橋駅西口(新宿寄り)徒歩15分